

◆明治大学国際日本古代学研究クラスター・日本古代学研究所主催 公開講演会◆

中国における日中交渉史上の 考古学的新発見!?

『入唐求法巡礼行記』の記載によると、円仁（794～864年）は、承和5年（838／唐・開成4年）に唐に遣唐使の一員として上陸した際、国清寺に滞在しました。その国清寺が最近発掘調査され、先日中国で公式発表がありました。その調査指導に当たられた賀雲翱先生から、最新の調査成果についてご報告いただきます。

開催日時：7月26日（木）

開場 15:30（16:00－18:00）

会場：明治大学駿河台キャンパス

グローバルホール（グローバルフロント1階）

講師：賀雲翱 He Yunao

（中国・南京大学歴史学院教授）



講演題目：「中国南通市如東県掘港における
古国清寺の考古学的発見と関連問題の検討」

（中文：中国南通如東掘港古国清寺考古発現及其有関係問題探討）

※使用言語：中国語（日本語通訳あり）

※参加無料・予約不要

●会場アクセス：http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/



国清寺跡の発掘状況と
「国清」墨書陶器